

## 2023 年度事業報告書

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

### 1. 事業の成果

医療・行政機関へのリーフレット配布や訪問など啓発活動の結果、コロナ禍で薄れていた高次脳機能障害や相談支援センターぷらむの認知度が高まり、退院前の患者に関してソーシャルワーカーやリハビリスタッフ、またケアマネージャーからの電話相談や、入院中の当事者家族からのメール相談が増えた。なお例年通り、来所による相談もあり通院同行や診療同行など多岐にわたり対応してきた。昨年より困難事例に関する相談が増加し、先生方や関係機関との連携を深め対応にあたったが、解決までには至らず継続支援としているケースもある。ただこれらの問題を各担当者にも共有してもらうことで、高次脳機能障害者及びその家族が抱える問題の大きさや、生活のしづらさを知って頂くことが出来た。

### 2. 事業実績

#### A) 相談・支援

高次脳機能障害に関する日常生活の諸問題についての相談受付、解決法の提示、及び解決に向けての活動を実施。

- 場 所 : 佐賀県佐賀市新中町 8 - 20
- 事業日程 : 相談業務受付 通年 火曜～金曜(10 時～17 時) 土曜日(10 時～13 時)
- 従 事 者 : 1 名 (相談支援専門員)
- 対 象 : 高次脳機能障害当事者、家族、行政福祉等の関係者

相談方法	電話	来所	メール	その他
	270	54	23	24

のべ相談人数 371 名      のべ相談件数 915 件

#### B) 主催 (研修会・講演会・会議)

##### ① 研修会開催

2023 年 (令和 5) 年度 高次脳機能障害研修会

日 時 : 令和 5 年 10 月 15 日 (日) 13 : 30～

場 所 : アバンセ 4 階 第 4 研修室

講 師 : 八谷瑞紀氏 (理学療法士) 脇山鏡太郎氏 (言語聴覚士)

佐古英樹氏 (作業療法士)

座 長：松尾崇史氏（熊本保健科学大学大学院 保健科学研究科）

テーマ：「リハビリテーションを通して現場から思うこと」

参加者：36名

② 支援会議開 　：3回　（11名）

③ 勉強会開催 　：5回　（20名）

テーマ　・自動車運転について2回　　・易怒性について  
          ・就労に関して                  ・後見人について

④ 家族会開催 　：3回（46名）

⑤ その他　　・通院同行並びに診療同行  
              ・当事者のグループホープでの共同生活上の注意について  
              担当者との検討会参加  
              ・会報誌「なかま」第8号発行  
              ・リーフレットの配布による啓発活動

### C) 協力（研修会・講演会・会議）

#### ① 協議会等参加

- ・令和5年度 第1回 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会
- ・令和5年度 第1回 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議  
日 時：令和5年6月28日 ※Web会議
  
- ・令和5年度 第2回 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会
- ・令和5年度 第2回 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議  
日 時：令和6年2月16日 ※Web会議
  
- ・令和5年度 第1回 佐賀地区自立支援協議会全体会議  
日 時：令和5年8月22日  
場 所：佐賀市役所（大和支所） 3階第4会議室
  
- ・令和5年度 第2回 佐賀地区自立支援協議会全体会議  
日 時：令和6年2月2日  
場 所：佐賀市役所（大和支所） 3階第4会議室

- ・令和5年度 高次脳機能障害支援普及事業九州ブロック会議 in 熊本  
日 時：令和5年12月6日 ※Web会議

① 研修会・講習会

- ・佐賀県リハビリテーション講習会 (2回)

日 時：令和5年11月31日 ホテルマリターレ創世

令和6年1月28日 メートプラザ佐賀 2階

② 支援会議

- ・支援会議 / ケース会議 8回 (36名)